

日本災害看護学会先遣隊 台風第19号活動報告（宮城県）

2019年10月17日(木)

活動メンバー:佐々木久美子

1. 活動の概要

活動日時:令和元年 10月17日(木)18:00~20:30

活動場所:宮城県黒川郡大郷町

支援目的:先遣隊活動

活動日の状況(被災6日目):

本日、保健所長と支所長が避難所に来所した。

10月15日から避難所の健康調査が開始され、当日は8件のみであったが、本日ほぼ聞き取りが終わっている。明日で終了する見込みがついた。また、町内の健康調査開始(来週実施予定)に向け、保健所長とともに準備をしている。

避難者の中には退室している方もいるが、新たに10月20日(日)に乳児(8か月)を含む家族が入室希望を出しているが、個室がなく今後、事務局で部屋の確保と必要物品の調達を検討する予定。

避難所:フラップおおさと21 避難者数:107名(11時現在)

2. 活動の実際

時間	活動の内容
7:20	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昨日から実施している健康調査の方法について、学会理事長に連絡、相談した(戸外での健康調査ではないので、調査員1名での調査でよいのではないかと。調査における「安全性」「客観性」等については確保されると考える。その旨を、状況を確認しながら情報提供する)。 ➤ 支所長に電話で連絡し、本日の避難所の調査方法について確認し、情報を提供した。保健所が健康調査については対応しているので、状況を確認し調査方法について確認したうえで提案してみたい。本日、保健所長と一緒に大郷町の避難所に向かう予定であり、状況を確認してくる予定。 ➤ 大郷町保健師に連絡。保健所長が来訪予定であることを伝える。現状を整理し、保健所に協力していただきたい点を提示できる準備することを提案した。健康調査で人手が不足する場合は、夕方避難所に戻ってくる人が多くなると思うので、夕方来訪することが可能であることを伝える。夕方再度電話することとした。
17:00	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大郷町保健師に連絡。状況確認。健康調査は本日ほぼ聞き取りが終わっている。明日で終了する見込みがついた。避難所の状況を見せていただきたいので来訪することの了解を得る。
18:00	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大郷町避難所において保健師から情報を得る。 <ul style="list-style-type: none"> ・避難所内は、夕食の時間であり落ち着いた雰囲気であった。また、入浴から帰宅した入所者の方から役場職員への労いの言葉もあり、穏やかな雰囲気であった。 ・役場職員は保健師、事務職等15名ほど、災害支援ナースは昨日からの引き続きで対応していた。若手議員が毎日来訪し状況把握をしていた。 ・10月15日から避難所の健康調査が開始され、当日は8件のみであったが、本日ほぼ聞き取りが終わっている。明日で終了する見込みがついた。また、町内の健康調査開始(来週実施予定)に向け、保健所とともに準備をしている。 ・避難者の中には退室している方もいるが、新たに10月20日(日)に乳児(8か月)を含む家族が入室

	<p>希望を出しているが、個室がなく今後、事務局(次長)で部屋の確保について検討する。必要物品の調達については保健師が検討することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none">・和式トイレには、簡易の様式便座が届き対応している。床に敷くマットはまだ届いていない。・玄関わきにある受付に役場職員がいる中で、玄関に靴が脱ぎ捨てられていた。入所者のお見舞いの訪問者の靴のように見受けられた。 <p>➤ 学会としての支援についての要望は、現在は特になく、必要があれば電話連絡いただくこととした。避難所設営時の的確な指示をいただいたことに感謝しているとのこと。</p>
--	---

3. 所感

- ・二次避難所に移動し 3 日目であり、入所者の出入りにより新たな課題が出てくるためその場にいる役場の職員が一体となり、前向きに取り組む様子が見受けられた。また、避難所の健康調査も目途がつき、今後、町全体の健康調査に入る予定であるが、保健所と話し合いを行い、準備を進めている。
- ・本日の状況から現地の関係者で対応可能な状況であるため、日本災害看護学会からの支援は必要であるときは連絡をいただくこととした。